

平成27年度林木育種成果発表会の開催

平成28年2月5日(金)に、東京都江東区の木材会館において、「最先端へのアクション！進化する林木育種！～次世代品種が変える、日本の森林・林業～」をテーマに、林木育種成果発表会を開催し、都道府県等から、141名の参加がありました。



写真1 成果発表会会場の様子

宇都宮大学教授の飯塚和也氏から、「エリートツリーと木の文化」の特別講演、(地独)青森県産業技術センター林業研究所森林環境部長の田中功二氏から、「優良な抵抗性クロマツ種子の生産性の飛躍的な向上ー東日本大震災復興としての取組ー」の特別報告をいただきました。

林木育種センター・育種場からは、各研究分野の研究者から7課題について発表しました。

●平成27年度開発品種の解説

- 育種第一課 田村 明
- スギにおけるゲノム情報を活用した高速育種技術基盤の確立
育種第一課 平岡裕一郎
- 早生樹種コウヨウザンの品種改良に向けて
探索収集課 磯田 圭哉
- 環太平洋域とつながる林木育種協力
ー防風林早期造成のためのテリハボクの育種研究ー
海外協力課 松下 通也
- 薬用系機能性樹木の生産効率化手法の開発に向けた取組
森林バイオ研究センター 谷口 亨
- 木質バイオマス生産量の大きいヤナギの開発に向けた取組
北海道育種場 矢野 慶介
- ヒノキエリートツリーのさし木品種開発について
関西育種場 久保田正裕



写真2 特別講演中の宇都宮大学飯塚教授

また、質疑応答では、研究の普及性や品種開発に対する行政側からの要望など様々な意見が出され、参加者の林木育種への関心の高さが伝わってきました。



写真3 林木育種センター各部長等からの報告

今年度は、平成27年度林木成果発表会の締めくくりとして、「今後の林木育種の展望について」をテーマに育種部、遺伝資源部、海外協力部、森林バイオ研究センターの各部長等から、今後の取組みや将来展望について、説明しました。

国や都道府県、各研究機関・企業等から多数のご来場をいただきましたことに感謝申し上げます。

(企画部 育種企画課 栗田 喜則)

表紙タイトル写真は、林木育種センター内に設定された特定母樹等を含むスギ第2世代精英樹候補木の植栽試験地



林木育種情報 No.21

平成28年3月15日発行

国立研究開発法人 森林総合研究所 林木育種センター
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3809-1

TEL : 0294-39-7000(代)

FAX : 0294-39-7306

ホームページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>